

ふりがな 氏名	いなぎ しんじ 稲木 真司	職名	准教授
取得学位	音楽博士(DMA)	学会での受賞歴	特記事項なし
主な担当科目	音楽科教育法、音楽演習		
所属学会	日本音楽教育学会、日本音楽表現学会(編集委員)、国際コダーイ協会理事、日本コダーイ協会(事務局長)		

◆ 教育業績

事項	実施年月(日)	概要
教科書「よくわかる音楽教育学」 ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-09489-9	令和5年2月	編著者:小川昌文、田邊裕子、戸谷登貴子、田中路、清水稔 著者:一条昌子、伊藤万里子、 <u>稲木真司</u> 、入江奈々子、他 担当:全252ページ中、第2章第10節(p.50-51)、第3章第6,7節(p.74-77)、第4章第2節(p.82-83)、第5章第9節(p.116-117)、第6章第1節(p.150-151)、第8章第6節(p.218-219)の計14ページを執筆。 本書は、21世紀の新しい「音楽観」と「音楽教育観」に基づく音楽教育の実践指南書であり、世界の動向を踏まえたグローバルな視点から音楽教育を捉え、教員養成と教育現場をシームレスにつなぐ内容となっている。
学生の指導案の作成方法に関する授業外指導	平成30年4月～平成30年7月 毎週4時間程度	小学校実習に出る児童教育学専攻3年生のために、音楽科の指導案の書き方の個人指導を行った。現在は新しい学習指導要領への移行期のため、新しくなった内容を学生が理解できるように配慮した。
	平成31年4月～令和元年7月 毎週4時間程度	児童教育学科児童教育学専攻の学生が受講する「音楽科教育法」における模擬授業のために、上記以外にもICTを授業に取り入れた授業の実践法の指導を行った。
	令和2年4月～令和2年7月 毎週4時間程度	児童教育学科児童教育学専攻の学生の小学校実習のために必要な個別の学生に対する教材の準備方法や指導案の添削などの指導を行った。
	令和3年4月～令和3年7月 毎週4時間程度	「音楽科教育法」を履修している学生を対象に、授業教材の選び方、準備の方法、また指導案の作成について個別指導を行った。
	令和4年4月～令和5年7月 毎週4時間程度	児童教育学科に所属し、小学校教諭免許を取得予定の学生を対象に、音楽科の授業の指導案の書き方や教材の選び方、教材の生かし方を個別に指導した。
採用試験のための実技指導	平成30年5月～平成30年12月	小学校教員志望の学生には教員採用試験の実技対策指導、保育・幼児教育志望の学生には、公務員試験における実技指導の対策を個別に行った。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
オンラインでの遠隔授業	令和元年5月～ 令和元年12月	一般に言われる「音痴」だと思い込んでいる学生でも、必ず音程が取れるようになる。授業時間外での個別指導を実施した。
	令和2年12月～ 令和3年2月	各都道府県の教員採用試験や就職/採用試験のためのピアノや弾き歌い実技の指導を行った。地方自治体や園、学校によってそれぞれ特徴があり、一般的な指導では十分ではないため、各自治体に分かれて実施。
	令和3年5月～ 令和3年10月	各都道府県の教員採用試験や就職/採用試験のためのピアノや弾き歌い実技の指導を行った。地方自治体や園、学校によってそれぞれ特徴があり、一般的な指導では十分ではないため、各自治体に分かれて実施。
	令和3年7月	教員採用試験および保育職の公務員試験を受ける学生を対象に、実技試験の対策として、個別に弾き歌いや伴奏の指導を行った。
	令和4年4月～ 令和4年10月	小学校教員志望の学生には教員採用試験の実技対策指導、保育・幼児教育志望の学生には、公務員試験における実技指導の対策を個別に行った。
歌唱を不得意とする学生のための個人指導	平成31年1月～ 令和2年2月	幼稚園・保育園および小学校の保育・教育現場において必要な歌唱力をつけるために、授業外において個人歌唱レッスンを行った。音程を正しく取ることを苦手とする学生がかかり正確な音程で歌えるようになった。
コミュニティ合唱団の指導	令和2年2月16日	「Voce Sacris」というコミュニティ合唱団を立ち上げ、主に賛美歌や聖歌などを題材に、ハンドサインやソルミゼーションを取り入れながら純正で響くハーモニーを作り出す訓練を行った。
オンライン・バーチャル合唱	令和2年 5月12日公開	大阪の少年少女合唱団「カラフル」の合唱指導を行った。特にハンドサインやソルミゼーションを用いて読譜やハーモニーの組み立て方の指導を行った。
	令和2年 6月17日公開	「The First Vision」の日本語訳の歌詞を字幕としてつけて、学習用ビデオを作成した。 https://youtu.be/Sn3uxDYTpNw
	令和2年11月1日 公開	「If We Love Him」の日本語版を用いて、成人対象のバーチャル合唱を行った。 https://youtu.be/88w0LUivi3g

事 項	実 施 年月(日)	概 要
	令和3年 10月30日公開 令和3年 10月6日公開 令和4年 2月26日公開 令和5年 2月25日公開	「主のもとへ」を題材に、成人対象のバーチャル合唱を行った。 https://youtu.be/s2UMj-FSFBs 「Restored」という英語の歌を日本語に翻訳し、混声四部合唱に編曲した。「回復から」という日本語タイトルで、成人対象のバーチャル合唱を行った。 https://youtu.be/_PK_EraUjkl 「In That Holy Place」という英語の歌を日本語に翻訳し、混声三部合唱に編曲した。「神の宮」という日本語タイトルで、成人対象のバーチャル合唱を行った。 https://youtu.be/lmalkVWQgaw 「The Miracle」という英語の歌を日本語に翻訳し、混声四部合唱に編曲した。「奇跡」という日本語タイトルで成人対象のバーチャル合唱を行った。 https://youtu.be/rxxurabfWO4
名古屋市土曜学習プログラム 「オリジナルのラップを作ろう」	平成30年10月27日 平成30年12月15日 令和元年9月21日 令和元年11月2日 令和4年6月4日 令和4年9月17日	名古屋市立川中小学校の1～6年生の児童33人とオリジナルのラップを作る活動を行った。学年ごと7つのグループに分かれて、自分たちでテーマを決めて創作し、最後に発表を行った。 名古屋市立二城小学校の1～6年生の児童36人とオリジナルのラップを作る活動を行った。学年ごと7つのグループに分かれて、自分たちでテーマを決めて創作し、最後に発表を行った。 名古屋市立堀田小学校の1～6年の児童と「ダジック・アース」という3Dプロジェクトマッピングを用いた音楽鑑賞の活動を行った。鑑賞教材はホルストの組曲『惑星』。 名古屋市立八事小学校の1～6年の児童と「ダジック・アース」という3Dプロジェクトマッピングを用いた音楽鑑賞の活動を行った。鑑賞教材はホルストの組曲『惑星』。 名古屋市立鶴舞小学校の3～6年の児童44人を対象に「ダジック・アース」という3Dプロジェクトマッピングを用いた音楽鑑賞の活動を行った。鑑賞教材はホルストの組曲『惑星』と名古屋市出身の箏曲家である野村正峰氏による『月の船』。 名古屋市立植田南小学校の3～6年の児童26人を対象に「ダジック・アース」という3Dプロジェクトマッピングを用いた音楽鑑賞の活動を行った。鑑賞教材はホルストの組曲『惑星』と名古屋市出身の箏曲家である野村正峰氏による『月の船』。

◆ 研究業績

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
著書	豊かな情操を育む音楽表現と音楽教育のために (ISBN 987-4-9079-5216-7)	共	平成 30 年 1 月	鳴海出版	監修:稲木真司 著者:青木園恵、伊藤充子、石川紀子、稲木真司、大森雅代ほか 18 名 全 154 ページ中、第 2 部第 4 章第 1 節(p.127-134)を執筆 保育士、幼稚園教諭、小学校教諭になる学生が、幼児とともに音楽活動を行ったり、児童に音楽を教えたりするうえで必要な知識や技能について説明している教科書および参考書。表現や音楽に関する内容を細かく項目化し、必要なときに参照できるようになっている。
	保育・教育の実践研究 保育をめぐる諸問題 IV (978-4-86359-267-4)	共	令和 5 年 2 月	一藝社	監修:現代保育問題研究会 著者:稲木真司、歌川光一、小尾麻希子、ほか 8 名 全 146 ページ中第 8 章第 2 節および 4 節(p.111-116)を執筆
論文	「幼児の音楽表現の理解と指導」	単	平成 30 年 3 月	名古屋女子大学紀要第 64 号「人文・社会編」	幼稚園教育要領における音楽内容について説明し、わらべうたや童謡など子どもたちが触れる音楽の特徴について説明している。それを踏まえて小学校教育への橋渡しをどのようにすることができるのか述べている。(p.169-178)
	「系統性と連続性をもった音楽教育のメソッドロジーの開発—ミュージック・リテラシー向上のために—」	共	平成 30 年 5 月	名古屋女子大学総合科学研究所 『総合科学研究』 第 12 号	新しい学習指導要領が施行されるうえで音楽科に必要なのは、系統性と連続性をもって音楽的内容を教えることであるが、そのための教授法を探求する研究論文。(p.1-6)
	「新教育課程に向けた音楽カリキュラム構築と教育法の確立」	共	令和元年 5 月	名古屋女子大学総合科学研究所 『総合科学研究』 第 13 号	国際的な音楽教育の流れを意識し、新しい学習指導要領に即した形で実践できる音楽カリキュラムや教育法の可能性についての研究。(p.49-57)

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
学会発表	「コダーイ・システムの理念及び実践について」	単	平成30年 3月20日	東京藝術大学 音楽学部第1ホール	コダーイ没後50年記念として、在日ハンガリー大使館および東京藝術大学より依頼を受けて、コダーイ・ゾルターンが目指した音楽教育について講演した。
	「学校教育の唱法問題—グローバルな視点から考える—」	共	令和元年 10月20日	東京藝術大学	学校教育における唱歌指導がどのように行われているのかをパネルディスカッション形式でハンガリー・台湾・イタリア・アメリカ各国での実践法を紹介し、日本での唱歌指導法について提言した。(アメリカの唱歌指導法の部分担当)
	「Skeleton Diagram of the Japanese Folk Songs」	単	令和3年 2月22日	MAME(マレーシア音楽教育協会)のYCA(青少年合唱アカデミー)主催 Kodály Online Hangout	小泉文夫が提唱した日本の民謡の音楽理論体系をもとに、柴田南雄が提案した「骸骨図」の紹介と、日本のわらべうたが「4度枠」という概念で説明できることを紹介した。
作曲 委嘱	「シオンの花」 合唱曲	単	平成30年 12月	ティアラこうとう コンサートホール	CMA という音楽団体からテーマソング「シオンの花」の合唱曲としての作曲委嘱。
	「バラバラード」 ソロ曲	単	令和2年 3月	名古屋女子大学	文字職人の杉浦誠司氏からの委嘱作品で、バラードの独唱曲。
	「Memory of Hibaku」(被爆の記憶)	単	令和3年 7月17日	Virtual Clarinet Fest 2021(国際クラリネット協会主催)	Csaba Jevtic-Somlai 氏からの委嘱作品で、クラリネット、ピアノ、デジタルメディアのパートで構成され、クラリネットのソロ、またはクラリネットとピアノのデュオのための作品。
演奏会	トッカータとフーガニ短調	共	令和元年 7月20日	沖縄ステーキセンター こけ落としコンサート	末日聖徒イエス・キリスト教会 沖縄ステーキセンターの落成記念コンサートで、オープニング曲をオルガンで演奏した。
	オンラインによるコラボ演奏	共	令和2年 4月	YouTube 上で公開	「うちで踊ろう」(星野源)とのコラボレーションプロジェクト。ギターの弾き語りの映像にピアノとバックコーラスを追加した。 https://youtu.be/EBH9Tbp3Ta0

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月 (日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
		共	令和2年 4月	YouTube 上で公開	「I Know He Lives」(David Archuleta)とのコラボレーションプロジェクト。ピアノの弾き語りの映像に、バックコーラスとストリングス、ピアノ、パーカッション等を追加した。 https://youtu.be/wi4KWaM7grI